

# 申請書を作成する

住まいの復興給付金

## 3

記入見本を参考に申請書を作成しましょう。

こちらでは、「補修」の申請書の記入の仕方を確認します。「建築・購入」で申請される方は、申請の手引き【建築・購入】用を参照ください。



# 15 申請書の記入方法について

## (1) 表紙

提出の必要はありませんが、申請上の注意事項が記載されています。記載されている内容を確認した上で、申請書を作成してください。

### 住まいの復興給付金制度

提出不要

#### 補修

#### 申請する前に確認してください

##### 対象者の要件

東日本大震災により被害が生じた住宅(以下「被災住宅」という。)を被災時点より所有し、引上げ後の消費税率が適用される期間に、その被災住宅の補修工事を発注し、その住宅に居住していること。

##### 被災住宅とは

東日本大震災により被害が生じ、り災証明書等で被害の認定を受けた住宅、または原子力災害による避難指示区域等内にある住宅

- 補修工事費が100万円(税抜)以上である場合、給付申請を行うことができます。
- 申請期限は、補修した被災住宅の引渡日から1年以内です。  
(複数回補修工事をした場合は、最終工事の引渡日から1年以内)
- (代表)申請者および共同申請者が給付申請できるのは1回までです。  
(1度給付申請をした後、新たに補修工事を実施しても申請することはできません)
- 1つの被災住宅を複数回補修工事した場合は、まとめて申請をしてください。
- 「補修」の給付申請を行った(代表)申請者および共同申請者が「建築・購入」の申請をすることはできません。
- すまい給付金(全国向け措置・国土交通省所管)との併用はできません。

#### 共同申請とは

対象者の要件すべてを満たしていない場合でも、下記 A、B に該当する場合、各要件を有する者が共同で申請(以下「共同申請」という。)することで、給付申請することができます。

##### A 被災時点の被災住宅の所有者と補修工事の発注者が異なる場合

※被災時点の被災住宅の所有者が死亡または行方不明の場合は関係確認書等(別紙1/5枚目 1 参照)を提出してください。

##### B 補修工事の発注者が複数である場合

- 共同申請する申請者は、補修した被災住宅に共に居住していることが要件となります。  
※補修した被災住宅に居住していない場合でも、親孝行住宅再建支援の要件に該当する方は共同申請できる場合があります。詳しくは「別紙④共同申請者申告書」を参照してください。
- 共同申請する場合、補修工事の発注者である代表1名を代表申請者とし、給付金を受領してください。
- すべての共同申請者情報について「別紙④共同申請者申告書」に記入し、提出してください。

#### 申請書類の記入・提出にあたって

- 申請書は、必ず黒ボールペン(消えないペン)で記入してください。
- 申請書の該当する項目の  に  を入れてください。
- 指定する添付書類の記載内容と申請書の記入内容が一致しているか確認してください。
- 申請書類はコピーをとり、お手元に保管してください。
- 申請書類は原則A4サイズとし、コピーで提出する書類は文字がはっきり読みとれるものを提出してください。
- 必要な申請書類がすべて揃っていない場合は申請の受付が行われません。
- 記入内容の訂正は、訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押してください。(訂正印がない場合は受け付けできません。)

住まいの復興給付金事務局

申請書類の送付先

〒983-8799 仙台東郵便局 私書箱15号  
住まいの復興給付金申請係

問い合わせ先 0120-250-460 フリーダイヤル(無料) 9:00 ~ 17:00(土・日・祝日除く)  
IP電話等からのご利用の場合(有料) 022-745-0420 ホームページ <https://fukko-kyufu.jp>

令和3年6月版

## (2) 申請書1/5枚目:申請書類チェックシート

- 申請書類のチェックシートです。申請書類が揃っているかを確認してください。また、必ず申請書の表紙として申請書と一緒に提出してください。

### 記入見本①

住まいの復興給付金制度

1 / 5 枚目

## 補修 申請書類チェックシート

提出前に申請書類が揃っているかをご確認ください。記入後はこちらの書類もご提出ください。

申請に必要な書類が揃っているかを確認し、 にチェックをしてください。

|   |   | 確認の上、チェック   |                     |
|---|---|---|---------------------|
| <b>【補修】「住まいの復興給付金申請書」*</b><br><div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     右記それぞれの条件に該当する場合、別紙をさらに追加で提出する必要があります。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被災住宅の所有者が補修工事の発注者(代表申請者)と異なる<br/>被災住宅の所有者が死亡または行方不明の場合は別紙①共同申請者申告書の提出は不要。下記①の書類を別途ご用意ください</li> <li>●被災住宅の所有者である父母・祖父母等が居住するための住宅の補修を支援した場合、別紙①共同申請者申告書と下記②の書類を追加でご用意ください</li> <li>●補修工事の発注者が複数である</li> <li>●分離発注など、工事請負契約が複数である</li> </ul> | 別紙①「【補修】共同申請者申告書」*<br><br>別紙②「【補修】工事請負契約が複数の場合の工事確認書」*  | 原本 <input checked="" type="checkbox"/> 1<br><br>原本 <input checked="" type="checkbox"/> 2<br><br>原本 <input type="checkbox"/> 3 | 1<br><br>2<br><br>3 |
| 給付金の振込先となる口座の口座情報が確認できる「通帳等の記載面」 ※共同申請の場合は代表申請者のもの  |   | コピー <input checked="" type="checkbox"/> 4   | 4                   |
| 住宅が被災したことを示す「り災証明書等」 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">原子力災害による避難指示区域等内にある場合は添付不要。</span>   |   | コピー <input checked="" type="checkbox"/> 5   | 5                   |
| <b>補修した被災住宅に関する書類</b>   | 補修した被災住宅の「不動産登記における建物の登記事項証明書・謄本」<br>※被災時点より被災住宅を所有していることが確認できるもの                               | 原本 <input checked="" type="checkbox"/> 6  | 6                   |
|   | 補修した被災住宅に居住していることを示す「住民票の写し」<br>※別紙①共同申請者申告書の提出が必要な場合、代表申請者および共同申請者全員の居住がわかる「住民票の写し」を添付         | 原本 <input checked="" type="checkbox"/> 7  | 7                   |
|   | 住宅の補修に係る「工事請負契約書」<br>※分離発注で補修工事を行った場合、各事業者の契約書を全て提出<br>※1つの被災住宅につき補修工事を複数回行った場合、その工事の契約書を全て提出   | コピー <input checked="" type="checkbox"/> 8   | 8                   |
|   | 実際に支払った工事金額を示す「領収書」<br>※分離発注で補修工事を行った場合、各事業者の領収書を全て提出<br>※1つの被災住宅につき補修工事を複数回行った場合、その工事の領収書を全て提出 | コピー <input checked="" type="checkbox"/> 9   | 9                   |
| 補修したことを示す「補修工事証明書」*<br>※補修箇所について、【別紙】補修工事内容確認書に補修前・補修後の写真を貼付けて提出  |   | 原本 <input checked="" type="checkbox"/> 10   | 10                  |
| <b>1 被災住宅の所有者が死亡または行方不明の場合のみ必要となる書類</b>   |   |   |                     |
| 被災住宅の所有者との関係を示す「関係確認書」*   |   | 原本 <input type="checkbox"/> 11  | 11                  |
| 被災住宅の所有者の死亡または行方不明であることが証明できる書類<br>例:「住民票の除票の写し」(個票)、「戸籍全部事項証明書」等   |   | 原本 <input type="checkbox"/> 12  | 12                  |
| 被災住宅の所有者に代わる者が被災時点で被災住宅に居住していたことが証明できる書類<br>例:「住民票の写し(除票も含む)」、「戸籍の附票の写し」等 ※上記「補修した被災住宅に関する書類」の「住民票の写し」で確認できる場合は提出不要   |   | 原本 <input type="checkbox"/> 13  | 13                  |
| <b>2 親孝行住宅再建支援をした場合のみ必要となる書類</b> ※詳しくは別紙①共同申請者申告書を参照  |   |   |                     |
| 被災住宅の補修を支援したことを申し出る「親孝行住宅再建支援申出書」*  |   | 原本 <input type="checkbox"/> 14  | 14                  |
| 被災住宅の所有者と申請者の続柄が証明できる書類<br>例:「戸籍全部事項証明書」等   |   | 原本 <input type="checkbox"/> 15  | 15                  |

\* \*の書類は、事務局指定の書式を使用してください。

事務局使用欄(申請者は記入不要)

申請書類はコピーをとり、お手元に大切に保管してください。

2枚目につぎます

令和3年6月版

- 38 -

## 記入方法①

## 記入にあたって

- 必ず黒のボールペン（消えないペン）で記入してください。
- 記入内容の訂正は、訂正箇所を二重線で消し、訂正印を押してください。（訂正印がない場合は受け付けできません）
- 押印は、実印以外の認印、スタンプ式ネーム印でも可能です。電子印鑑は使用できません。
- 提出された申請書類は返却できませんので、申請書類はコピーを取り保管してください。

訂正の例

~~間違えた記入~~

## 1 申請書類の種別(原本またはコピー)を確認してください。

- 提出いただく書類は「原本」または「コピー」の種別の指定があります。用意いただいた書類の種別に、誤りがないかどうかを、必ず確認してください。

## 2 提出前に申請に必要な書類が揃っていることを確認し、チェックをしてください。

- 申請書(1/5～5/5枚までの5枚)が揃っていることを確認して、① にチェックをしてください。
  - 被災住宅の所有者と補修工事の発注者が異なる場合や補修工事の発注者が複数名の場合で、共同申請する方は、別紙①「【補修】共同申請者申告書」があることを確認して② にチェックをしてください。
  - 分離発注など工事請負契約が複数の場合は、別紙②「【補修】工事請負契約が複数の場合の工事確認書」があることを確認して③ にチェックをしてください。
    - ・ 複数の補修工事の発注者が、複数の工事施工者と契約している場合は、別紙①と別紙②の両方を提出する必要があります。
- ④ から⑩ までの添付書類は、申請されるすべての方に提出いただく書類です。すべて揃っているかを確認し、チェックをしてください。

## 3 被災住宅の所有者が死亡または行方不明の場合には、⑪ と⑫ および⑬の書類があることを確認してください。(該当しない場合は提出不要)

- ・ 「【補修】被災住宅所有者との関係確認書」(P32参照)は、住まいの復興給付金事務局のホームページからダウンロードするか、この申請の手引きの書式を使用してください。

## 4 親孝行住宅再建支援の場合には、⑭ と⑮ の書類があることを確認してください。(該当しない場合は提出不要)

- ・ 「親孝行住宅再建支援申出書」(P35参照)は、住まいの復興給付金事務局のホームページからダウンロードするか、この申請の手引きの書式を使用してください。

### (3) 申請書2/5枚目

- (代表)申請者の情報を記入していただく申請書です。
- 手続代行者が申請する場合は、(代表)申請者に加え手続代行者の情報も記入してください。

#### 記入見本②

住まいの復興給付金制度

2 / 5 枚目

補修

## 住まいの復興給付金申請書

①申請者の情報を記入してください。共同で申請する場合はその代表となる申請者が記入してください。

①(代表)申請者情報

本申請書の記載内容および<同意事項>を確認・同意の上、給付申請を行います。

|  |  |                           |            |
|--|--|---------------------------|------------|
| 記入日  | 令和 △△年 □□月 ○○日   |                           |            |
| (代表)申請者の(住民票、契約書)で確認できる氏名を本人が記名・押印。  | (代表)申請者氏名<br>(補修工事の)発注者  | フリガナ フッコワ                 | フリガナ ジュンイチ |
|  | 復興   | 名                         | 順一         |
|  | <input checked="" type="checkbox"/> 補修工事を複数の者で発注しており、共同で申請する場合 <span style="float: right;">別紙①「共同申請者申告書」も記入</span> |                           |            |
| (代表)申請者の(住民票、防災証明書等)で確認できる住所または原子力災害による避難指示区域等内にある住宅はその住所を記入。<br>建物名、部屋番号を省略せず記入。<br>日中に連絡が取れる番号をいずれか必ず記入。 | 補修した被災住宅の住所  | フリガナ ミヤギ                  | フリガナ       |
|  |  | 〒 900-000× 宮城 都道府県        | ○○ 〇〇 市区   |
|  |  | フリガナ △△チョウ                |            |
|  |  | △△町1-1-1                  |            |
| 電話番号   | 自宅 022 - 222 - ××××  | 携帯 090 - 1111 - ××××      |            |
| (代表)申請者の(住民票)等で確認できる生年月日を記入。   | 生年月日   | 明治 大正 (昭和) 平成 令和 50年4月10日 |            |
| 補修した被災住宅の住所と異なる場合のみ記入。<br>(事務局からの郵送物の送り先となります。)<br>建物名、部屋番号を省略せず記入。  | 〒  | 都道府県                      | 市区         |
|  |  | 建物名                       | 部屋番号       |

②手続代行者がいる場合、下記に記入してください。補修工事の発注者本人が申請を行う場合、記入不要です。

②手続代行者情報

本申請書の記載内容および<同意事項>を確認・同意の上、給付申請を行います。

|   |              |         |        |                  |
|---|--------------|---------|--------|------------------|
| 必ず手続代行者本人が記名・押印してください。<br>記載がある場合、書類の不備などの連絡は、手続代行者に行います。 | 事業者名         | 支店名     | 仙台支店   |                  |
|   | 株式会社 住宅リフォーム | (改築)    |        |                  |
|   | 担当者名         | 改築 建二   | 担当者連絡先 | 022 - 202 - ×××× |
|   | 〒 980-000×   | 宮城 都道府県 | 仙台 市区  |                  |
|   | 宮城野区□□町4-4-4 |         |        |                  |

事務局使用欄(申請者は記入不要)

3枚目につづきます

令和3年6月版

- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10

- 40 -

## 記入方法②

5 申請書を作成した日を記入してください。

6 申請書の同意事項（申請書の7枚目）をお読みになり同意の上、（代表）申請者（補修工事の発注者）本人が記名・押印してください。

- 以下の添付書類に記載されている氏名と同じであることを確認してください。
  - ・補修した被災住宅に居住している申請者の「住民票の写し」（P26参照）
  - ・被災住宅の補修工事請負契約書（P28参照）
- フリガナも必ず記入してください。
- 補修工事を複数の者で発注し、共同で申請する場合には、1名を代表申請者とし、本人が記名・押印するとともに、氏名記入欄の下にある「補修工事を複数の者で発注しており、共同で申請する場合」にチェックをしてください。チェックをした場合は、別紙①「【補修】共同申請者申告書」（P56～59参照）も記入してください。
- 押印は、実印以外の認印、スタンプ式ネーム印でも可能です。電子印鑑は利用できません。

7 補修工事を行った被災住宅の住所を記入してください。

- 「り災証明書等」（P23参照）に記載されている住所と同じであることをご確認ください。原子力災害による避難指示区域等内にある住宅の場合は、被災住宅の住所を記入してください。
- 住所は省略せずに記入してください。共同住宅等の場合は、建物名、部屋番号も必ず記入してください。
- 住まいの復興給付金事務局からの通知書等は、10 で指定していない場合、この住所に送付されます。

8 （代表）申請者の電話番号を記入してください。

- 申請内容の確認等のため連絡する場合がありますので、日中に連絡が取れる電話番号を記入してください。

9 （代表）申請者の生年月日を記入してください。

- 「住民票の写し」（P26参照）に記載されている生年月日と同じであることをご確認ください。

10 （代表）申請者に対する住まいの復興給付金事務局からの通知書等の受取先として、7 の補修した被災住宅の住所以外を指定する場合のみ記入してください。

- 7 と同じ場合は記入不要です。
- 住所は省略せず、建物名、部屋番号も必ず記入してください。

記入見本②

住まいの復興給付金制度

2 / 5 枚目

補修

住まいの復興給付金申請書

①申請者の情報を記入してください。共同で申請する場合はその代表となる申請者が記入してください。

|   |                         |                                       |                                       |
|---|-------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ①(代表)申請者情報  |                         | 本申請書の記載内容および<同意事項>を確認・同意の上、給付申請を行います。 |                                       |
| 記入日   | 令和 △△年 □□月 ○○日          |                                       |                                       |
| (代表)申請者の(住民票、契約書)で確認できる氏名を本人が記名・押印。   | (代表)申請者氏名<br>(補修工事の発注者) | フリガナ                                  | フッコウ ジュンイチ                            |
|   |                         | 氏名                                    | 復興 順一 (復興)                            |
| <input checked="" type="checkbox"/> 補修工事を複数の者で発注しており、共同で申請する場合                    |                         | 別紙①「共同申請者申告書」も記入                      |                                       |
| (代表)申請者の(住民票、被災証明書等)で確認できる住所または原子力災害による避難指示区域等内にある住宅はその住所を記入。<br>建物名、部屋番号を省略せず記入。 | 補修した被災住宅の住所             | フリガナ                                  | ミヤギ ○○○                               |
|   |                         | 〒                                     | 900-000× 宮城 都道府県 ○○ (市) 郡区            |
|   |                         | フリガナ                                  | △△チョウ                                 |
|   |                         | フリガナ                                  | △△町1-1-1                              |
| フリガナ  | 建物名 部屋番号                |                                       |                                       |
| 日中に連絡が取れる番号をいずれか必ず記入。   | 電話番号                    | 自宅                                    | 022 - 222 - ×××× 携帯 090 - 1111 - ×××× |
| (代表)申請者の(住民票)等で確認できる生年月日を記入。  | 生年月日                    | ○明治 ○大正 ○昭和 ○平成 ○令和 50年4月10日          |                                       |
| 補修した被災住宅の住所と異なる場合のみ記入。(事務局からの郵送物の送り先となります。)建物名、部屋番号を省略せず記入。                       | 〒                       | 都道府県                                  | 市郡区<br>建物名 部屋番号                       |

②手続代行者がいる場合、下記に記入してください。補修工事の発注者本人が申請を行う場合、記入不要です。

|   |                              |                                       |                    |
|---|------------------------------|---------------------------------------|--------------------|
| ②手続代行者情報  |                              | 本申請書の記載内容および<同意事項>を確認・同意の上、給付申請を行います。 |                    |
| 必ず手続代行者本人が記名・押印してください。<br>記載がある場合、書類の不備などの連絡は、手続代行者に行います。 | 手続代行者                        | 事業所名                                  | ① 株式会社 住宅リフォーム     |
|   |                              | 担当者名                                  | ③ 改築 建二            |
|   |                              | 支店名                                   | ⑤ ② 仙台支店           |
|   |                              | 担当者連絡先                                | ④ 022 - 202 - ×××× |
| 〒   | ⑥ 980-000× 宮城 都道府県 仙台 (市) 郡区 | 宮城野区□□町4-4-4                          |                    |

事務局使用欄 (申請者は記入不要)

3枚目につぎます

令和3年6月版

## 記入方法②

**11 (代表)申請者および共同申請者から申請の委任を受けた手続代行者がいる場合のみ記入してください。**

- (代表)申請者本人が申請する場合には、以下 ①～⑥ の記入は不要です。
- 行政書士でない者が、給付金申請書作成の対価を得ることは行政書士法に違反することとなります。
- 記入漏れがあった場合は、(代表)申請者に連絡を取らせていただく場合があります。

**① 手続代行者が所属する事業者の名称を記入してください。**

- ・ご家族など、個人が手続代行を行う場合は、記入不要です。

**② 手続代行者が所属する事業者の支店・事業所などの名称を記入してください。**

- ・ご家族など、個人が手続代行を行う場合や支店・事業所などがいない場合は、記入不要です。

**③ 手続代行者本人が記名してください。**

- ・事業者が手続代行を行う場合は、担当者本人が記名してください。
- ・申請内容の確認などで、住まいの復興給付金事務局より不備等の連絡をする場合は、ここに記入された手続代行者宛に行います。

**④ 手続代行者の電話番号を記入してください。**

- ・申請内容の確認のため連絡する場合がありますので、日中に連絡が取れる電話番号を記入してください。

**⑤ 手続代行者（個人または担当者）の印鑑を押印してください。**

- ・押印は、実印以外の認印、スタンプ式ネーム印でも可能です。  
電子印鑑は使用できません。

**⑥ 手続代行者が所属する事業者の支店・事業所などの住所を記入してください。**

- ・ご家族など、個人が手続代行を行う場合は、郵送物を受け取ることができる住所を記入してください。
- ・住所は省略せずに記入してください。
- ・共同住宅等の場合は、建物名、部屋番号も必ず記入してください。
- ・書類に不備があった場合など、住まいの復興給付金事務局より書類を郵送する場合に使用します。

## (4) 申請書3/5枚目

- 補修した被災住宅について記入していただく申請書です。
- 添付書類を参考に記載する項目があるため手元にご用意の上、記入してください。

### 記入見本③

**住まいの復興給付金制度**
補修 住まいの復興給付金申請書
3 / 5 枚目

③ 給付対象となる補修した被災住宅について記入してください。

| ③ 補修した被災住宅情報 |  |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
|--------------|--|--------------|--|------|-------|--------|------------------|-----|---------------------|-----|---------------------|
| 補修した被災住宅の住所  | ① (代表)申請者情報の『補修した被災住宅の住所』と同じ   |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 補修した被災住宅の所有者 | <input checked="" type="checkbox"/> ① (代表)申請者氏名と同じ<br><input checked="" type="checkbox"/> ① (代表)申請者氏名と異なる → 別紙①「共同申請者申告書」も記入。<br><small>※死亡または行方不明の場合は記入不要。別途、「補修」関係確認書を添付してください。</small>  |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 床面積          | 登記の表題部に記載されている床面積の① <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">90.00 m<sup>2</sup></span> → <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">ア</span><br><small>(マンション等共同住宅は専有部の床面積)</small><br>店舗・事務所等、住宅以外の用途を含む場合 住宅部分の床面積 ② <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">. . . m<sup>2</sup></span> → <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">イ</span>  |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 被災住宅の種別      | 東日本大震災による被害が生じた住宅(り災証明書等が必要)<br><input checked="" type="checkbox"/> 全壊または流出<br><input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊<br><input checked="" type="checkbox"/> 半壊または床上浸水<br><input checked="" type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水<br><input checked="" type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある住宅(り災証明書等は不要)   |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 契約を締結した工事施工者 | <input checked="" type="checkbox"/> ① 一つの契約で補修を実施<br><small>(下記に契約した事業者名を記入してください。)</small> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; font-weight: bold;">株式会社 住宅リフォーム</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">担当者名</td> <td style="text-align: center;">改築 建二</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">担当者連絡先</td> <td style="text-align: center;">022 - 202 - ××××</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">契約日</td> <td style="text-align: center;">平成 26年 4月 15日<br/>令和</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">引渡日</td> <td style="text-align: center;">平成 26年 5月 10日<br/>令和</td> </tr> </table> </div> <input checked="" type="checkbox"/> 複数の契約で補修を実施<br><small>※複数の契約で住宅を補修した場合、および分離発注を行った場合等はこちらをチェック。</small> → 別紙②「工事請負契約が複数の場合の工事確認書」も記入 | 株式会社 住宅リフォーム |  | 担当者名 | 改築 建二 | 担当者連絡先 | 022 - 202 - ×××× | 契約日 | 平成 26年 4月 15日<br>令和 | 引渡日 | 平成 26年 5月 10日<br>令和 |
| 株式会社 住宅リフォーム |  |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 担当者名         | 改築 建二  |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 担当者連絡先       | 022 - 202 - ××××   |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 契約日          | 平成 26年 4月 15日<br>令和  |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |
| 引渡日          | 平成 26年 5月 10日<br>令和  |              |  |      |       |        |                  |     |                     |     |                     |

事務局使用欄(申請者は記入不要)

4 枚目に つづきます

令和3年6月版

## 記入方法③

## 12 補修した被災住宅の所有者に該当する項目にチェックをしてください。

- 申請書2/5枚目に記入した(代表)申請者の氏名 6 が、被災時点の被災住宅の所有者と同じ場合には、上段の「(代表)申請者氏名と同じ」にチェックをしてください。異なる場合は下段「(代表)申請者氏名と異なる」にチェックをして、別紙 ①「【補修】共同申請者申告書」(P56~59参照)も記入、提出してください。

・被災時点の被災住宅の所有者が死亡または行方不明の場合、別紙 ① の記入は不要ですが、別途「【補修】被災住宅所有者との関係確認書」(P32, および書式集参照)等、申請書1/5枚目に記載されている3点の書類を提出してください。

・被災時点の被災住宅の「不動産登記における建物の登記事項証明書」(P24参照)の権利部(甲区)で所有者を確認してください。

| 事項       |                       |
|----------|-----------------------|
| 年月日・受付番号 | 権利者のその他の事項            |
| ○年○月○日   | 所有者 ○○市○○区○○町△△△△番△△号 |
| ○○号      | 復興 順一                 |

## 13 不動産登記で確認できる被災時点の被災住宅の床面積を記入してください。

- 不動産登記の表題部に記載のある、建物の床面積の合計を ① に記入してください。マンション等の共同住宅の場合は、専有部の床面積を記入してください。

- 不動産登記の表題部「①種類」で住宅に加えて店舗等の記載がある店舗併用住宅、事務所併用住宅等の場合は、住宅部分のみの床面積を ② に記入してください。

・住宅、店舗のように複数の用途がある場合、不動産登記に、それぞれの床面積は記載されていませんので、ご自身で図面等から計算してください。(次ページ参照)

| 表題部(主である建物の表示) |                     | 調整                   | 自由                         | 不動産番号 | ○○○○○○○○ |
|----------------|---------------------|----------------------|----------------------------|-------|----------|
| 所在回番号          | 自由                  |                      |                            |       |          |
| 所在             | 宮城県○○市△△町1丁目1番      |                      | 自由                         |       |          |
| 家屋番号           | 1番1号                |                      | 自由                         |       |          |
| ①種類            | ②構造                 | ③床面積                 | 原因及びその日付(登記の日付)            |       |          |
| 住宅             | 木造かわらぶき造            | 1階 45.00<br>2階 45.00 | 平成26年4月0日新築<br>(平成26年4月0日) |       |          |
| 所有者            | 宮城県○○市△△町1丁目1番 復興順一 |                      |                            |       |          |

## 14 被災住宅の種別にチェックをしてください。

- 東日本大震災による被害が生じた住宅の「り災証明書等」をお持ちの方は、り災証明書等に記載されている「被害の程度」と同じ項目にチェックをしてください。
- 原子力災害による避難指示区域等内に住宅がある方は、「原子力災害による避難指示区域等内にある住宅」にチェックをしてください。

## 15 補修工事の契約を締結した工事施工者の情報を記入してください。

- 1つの契約で補修工事を行った場合は、「1つの契約で補修を実施」にチェックをして、その事業者名と担当者名、担当者連絡先を記入してください。その下段には、補修工事契約書に記載されている契約日と補修工事を行った工事施工者から引渡しを受けた日を記入してください。
- 同一の工事施工者と複数回の補修工事を行った場合は、「複数の契約で補修を実施」にチェックをして、別紙 ②「【補修】工事請負契約が複数の場合の工事確認書」(P60, 61参照)に、補修工事毎に契約日、引渡日、消費税率、工事金額を記入してください。
- 複数の工事施工者と補修工事を行った場合は、「複数の契約で補修を実施」にチェックをして、別紙 ②「【補修】工事請負契約が複数の場合の工事確認書」(P60, 61参照)に補修工事毎の施工者名、担当者、連絡先、契約日、引渡日、消費税率、工事金額、そして合計金額を記入してください。

記入方法③

<参考> 床面積の記入参考例

■ 建物の不動産登記の表題部「①種類」が「居宅」の場合

| 表題部   | (主である建物の表示)            | 調製  | 空白       | 不動産番号           | 0000000000 |
|-------|------------------------|-----|----------|-----------------|------------|
| 所在図番号 | 空白                     |     |          |                 |            |
| 所在    | 宮城県〇〇市△△町5丁目5番6号       |     | 空白       |                 |            |
| 家屋番号  | 5番6号                   |     | 空白       |                 |            |
| ①種類   | 居宅                     | ②構造 | ③床面積 (㎡) | 原因及びその日付(登記の日付) |            |
|       |                        |     | 1階 46.47 | (平成26年4月〇日)     |            |
|       |                        |     | 2階 47.53 |                 |            |
| 所有者   | 宮城県〇〇市△△町5丁目5番6号 復興 順一 |     |          |                 |            |

種類が「居宅」の場合は、  
申請書の **ア** に床面積の合計を記入。  
**イ** への記入は不要です。

③ 補修した被災住宅情報

補修した被災住宅の住所 ①(代表)申請者情報の「補修した被災住宅の住所」と同じ

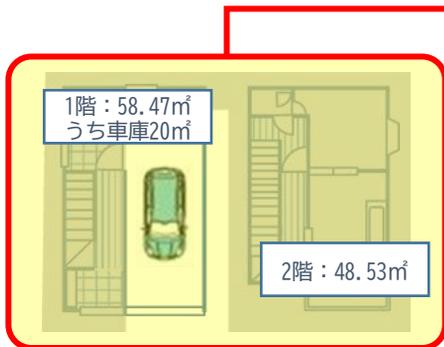
補修した被災住宅の所有者  ①「(代表)申請者氏名」と同じ  
 ①「(代表)申請者氏名」と異なる → 別紙④「共同申請者(※死亡または行方不明)別添(補修)関係書類」を提出してください。

床面積 登記の表題部に記載されている床面積の合計(マンション等共同住宅は専有部の床面積) **94.00㎡ → ア**  
店舗・事務所等、住宅以外の用途を含む場合 住宅部分の床面積 **記入不要イ**

■ 建物の不動産登記の表題部「①種類」に居宅以外(居宅・車庫や居宅・店舗等)が含まれる場合

| 表題部   | (主である建物の表示)            | 調製  | 空白       | 不動産番号           | 0000000000 |
|-------|------------------------|-----|----------|-----------------|------------|
| 所在図番号 | 空白                     |     |          |                 |            |
| 所在    | 宮城県〇〇市△△町5丁目5番6号       |     | 空白       |                 |            |
| 家屋番号  | 5番6号                   |     | 空白       |                 |            |
| ①種類   | 居宅・車庫                  | ②構造 | ③床面積 (㎡) | 原因及びその日付(登記の日付) |            |
|       |                        |     | 1階 58.47 | (平成26年4月〇日)     |            |
|       |                        |     | 2階 48.53 |                 |            |
| 所有者   | 宮城県〇〇市△△町5丁目5番6号 復興 順一 |     |          |                 |            |

種類が「居宅・車庫」の場合は、  
申請書の **ア** に登記に記載されている  
床面積の合計を記入。



③ 補修した被災住宅情報

補修した被災住宅の住所 ①(代表)申請者情報の「補修した被災住宅の住所」と同じ

補修した被災住宅の所有者  ①「(代表)申請者氏名」と同じ  
 ①「(代表)申請者氏名」と異なる → 別紙④「共同申請者(※死亡または行方不明)別添(補修)関係書類」を提出してください。

床面積 登記の表題部に記載されている床面積の合計(マンション等共同住宅は専有部の床面積) **107.00㎡ → ア**  
店舗・事務所等、住宅以外の用途を含む場合 住宅部分の床面積 **87.00㎡ → イ**

図面等で確認できる1階の車庫分(20㎡)を除いた床面積と2階の床面積の居宅部分合計を **イ** に記入します。

記入方法③

■ 表題部で、居宅部分と附属建物(車庫等)の床面積が別々に記載されている場合

| 用途            | 種類         | 構造         | 床面積 (㎡)  | 原因及びその日付(登記の日付)            |
|---------------|------------|------------|----------|----------------------------|
| 居宅            | 軽量鉄骨造瓦葺2階建 | 1階         | 109.26   | 平成11年6月1日新築<br>〔平成11年6月2日〕 |
|               |            | 2階         | 35.72    |                            |
| 余白            |            |            |          |                            |
| 表題部 (附属建物の表示) |            |            |          |                            |
| 符号            | ①種類        | ②構造        | ③床面積 (㎡) | 原因及びその日付(登記の日付)            |
| 1)            | 車庫         | 木造スレート葺平屋建 | 17.95    | 余白                         |

登記に記載されている「居宅」のみの床面積合計を申請書の **ア** に記入。  
**イ** への記入は不要です。

③ 補修した被災住宅情報

|              |  |
|--------------|--|
| 補修した被災住宅の住所  | ①(代表)申請者情報の「補修した被災住宅の住所」と同じ  |
| 補修した被災住宅の所有者 | <input checked="" type="checkbox"/> ①「(代表)申請者氏名」と同じ<br><input checked="" type="checkbox"/> ①「(代表)申請者氏名」と異なる                          |
| 床面積          | 登記の表題部に記載されている床面積の合計<br>(マンション等共同住宅は専有部の床面積)<br><b>144.98 m<sup>2</sup></b> → <b>ア</b><br>店舗・事務所等、住宅以外の用途を含む場合 住宅部分の床面積 <b>記入不要イ</b> |



### (5) 申請書4/5枚目

- 給付申請額と給付金の情報を記入していただく申請書です。
- 添付書類を参考に記入する項目があるため手元にご用意の上、記入してください。

#### 記入見本④

16

17

18

19

**住まいの復興給付金制度** 補修 住まいの復興給付金申請書 4 / 5 枚目

④給付申請額を計算してください。

④ 給付申請額 **A**と**B**のどちらか少ない方の金額が給付申請額となります。

**A 被災時点の被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額**

| 住宅部分の床面積※1  | 契約時の消費税率※2                                     | り災状況等   | 給付単価   |
|---|--|---|--------|
| <b>ア</b> または <b>イ</b><br><div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">90.00</div> m <sup>2</sup> | <input checked="" type="checkbox"/> 8%<br>の場合  | <input checked="" type="checkbox"/> ②または流出    | 1,680円 |
|   |  | <input type="checkbox"/> 大規模半壊                | 1,650円 |
|   |  | <input checked="" type="checkbox"/> 半壊または床上浸水 | 1,380円 |
|   |  | <input type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水          | 840円   |
|   |  | <input type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある  | 1,680円 |
|   | <input checked="" type="checkbox"/> 10%<br>の場合 | <input type="checkbox"/> 全壊または流出              | 2,800円 |
|   |  | <input type="checkbox"/> 大規模半壊                | 2,750円 |
|   |  | <input type="checkbox"/> 半壊または床上浸水            | 2,300円 |
|   |  | <input type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水          | 1,400円 |
|   |  | <input type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある  | 2,800円 |

※1 3/5枚目の③補修した被災住宅情報の床面積②を記入。(店舗・事務所等、住宅以外の用途を含む場合は住宅部分の床面積①を記入。)

※2 契約書が複数ある場合、契約日が一番古い契約書の消費税率としてください。

被災時点の被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額

**A**  
 百万 十万 万 千  
 , 124 ,000円  
\*千円未満切捨て

**B 実際に支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額**

**消費税率が8%の場合**

実際に支払った補修工事費(領収書の税込金額)

C-1

4,320,000

 円

実際に支払った補修工事費の税抜合計

D-1

4,000,000

 円  
\*1円未満切捨て

増税分 8%時 実際に支払った消費税増税分

D-1

120,000

 円  
(増税3%分) \*1円未満切捨て

**B**  
 百万 十万 万 千  
 , 120 ,000円  
\*千円未満切捨て

**消費税率が10%の場合**

実際に支払った補修工事費(領収書の税込金額)

C-2

[ ]

 円

実際に支払った補修工事費の税抜合計

D-2

[ ]

 円  
\*1円未満切捨て

増税分 10%時 実際に支払った消費税増税分

D-2

[ ]

 円  
(増税5%分) \*1円未満切捨て

**A**と**B**のうち  
 少ない方の金額を記入 給付申請額  
 百万 十万 万 千  
 , 120 ,000円  
\*千円未満切捨て

5枚目につづきます  
令和3年6月版

記入方法④

16 住宅部分の床面積を記入してください。

- 申請書の3/5枚目「③補修した被災住宅情報」の床面積 **ア** に記入した床面積を記入してください。  
店舗、事務所、車庫、倉庫等、住宅以外の用途を含む場合は **イ** に記入した床面積を記入してください。

17 契約時の消費税率と、り災状況等にチェックをしてください。

- **①** は、補修工事を契約した時点の消費税率にチェックをしてください。
  - ・消費税率が5%の契約は給付対象とはなりません。ご注意ください。
  - ・複数回の補修工事で、消費税率が混在する場合は、契約の日付が一番古い契約書に記載のある消費税率にチェックをしてください。
- **②** は、り災証明書等に記載されている「被害の程度」と同じ項目にチェックをしてください。  
原子力災害による避難指示区域等内に住宅がある方は「原子力災害による避難指示区域等内にある」にチェックをしてください。

18 不動産登記で確認できる被災時点の被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額を計算して記入してください。

- **16** で記入した床面積と、**17** の **②** でチェックをした給付単価を掛けた額を **A** に記入してください。  
千円未満切捨てとなります。

**例**

④ 給付申請額 ②と③のどちらか少ない方の金額が給付されます。

**A** り災状況に応じた給付単価を掛けた額

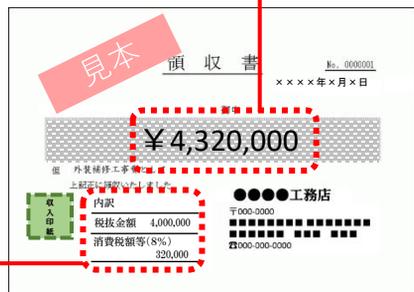
| り災状況等   | 給付単価   |
|---|--------|
| <input type="checkbox"/> 全壊または流出              | 1,680円 |
| <input type="checkbox"/> 大規模半壊                | 1,650円 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 半壊または床上浸水 | 1,380円 |
| <input type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水          | 840円   |
| <input type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある  | 1,680円 |
| <input type="checkbox"/> 全壊または流出              | 2,800円 |
| <input type="checkbox"/> 大規模半壊                | 2,750円 |
| <input type="checkbox"/> 半壊または床上浸水            | 2,300円 |
| <input type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水          | 1,400円 |
| <input type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある  | 2,800円 |

住宅部分の床面積 **ア** または **イ** **90.00** m<sup>2</sup>

**A** : 90.00(m<sup>2</sup>) × 1,380(円) = 124,200(円) (千円未満切捨て) = **A** : 124,000(円)

19 実際に支払った補修工事費の税込金額を記入してください。

- 領収書(P29参照)に記載されている工事金額の税込金額を消費税率に応じた記入欄に記入してください。
  - ・消費税率が8%適用期間に行った補修工事と10%適用期間に行った補修工事がある場合にはそれぞれの消費税率に応じた記入欄に記入してください。
  - ・補修工事を複数回行った場合は、その合計金額を記入してください。



20 実際に支払った補修工事費の税抜金額を記入してください。

- 領収書に消費税額や税抜金額の記載 **●●●●** がある場合には、その金額を記入してください。
- 領収書に記載がない場合には、(消費税率8%の税込金額) ÷ 1.08、または(消費税率10%の税込金額) ÷ 1.10で計算して記入してください。

記入見本④

住まいの復興給付金制度

補修

住まいの復興給付金申請書

4 / 5 枚目

④給付申請額を計算してください。

④ 給付申請額 AとBのどちらか少ない方の金額が給付申請額となります。

A 被災時点の被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額

|   |            |  |      |   |
|---|------------|--|------|---|
| 住宅部分の床面積※1<br><br>アまたはイ<br>90.00 m <sup>2</sup> | 契約時の消費税率※2 | り災状況等  | 給付単価 | 被災時点の被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額<br><br>A<br>124,000円<br>*千円未満切捨て |
|   | 8%の場合      | <input checked="" type="checkbox"/> 全壊または流出 1,680円<br><input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊 1,650円<br><input checked="" type="checkbox"/> 半壊または床上浸水 1,380円<br><input checked="" type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水 840円<br><input checked="" type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある 1,680円   |      |   |
|   | 10%の場合     | <input checked="" type="checkbox"/> 全壊または流出 2,800円<br><input checked="" type="checkbox"/> 大規模半壊 2,750円<br><input checked="" type="checkbox"/> 半壊または床上浸水 2,300円<br><input checked="" type="checkbox"/> 一部損壊または床下浸水 1,400円<br><input checked="" type="checkbox"/> 原子力災害による避難指示区域等内にある 2,800円 |      |   |

※1 3/5枚目の③補修した被災住宅情報の床面積を記入。  
(店舗・事務所等、住宅以外の用途を含む場合は住宅部分の床面積を記入。)

※2 契約書が複数ある場合、契約日が一番古い契約書の消費税率としてください。

B 実際に支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額

**消費税率が8%の場合**

実際に支払った補修工事費 (領収書の税込金額) C-1  
4,320,000円

実際に支払った補修工事費の税抜合計  
4,000,000円

増税分  
0.03 (増税3%分)

8%時 実際に支払った消費税増税分 D-1  
120,000円

【税抜合計】=(実際に支払った補修工事費の税込合計 C-1)+1.08

支払った消費税額が8%の場合(D-1)の金額を記入、10%の場合(D-2)の金額を記入。

実際に支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額 B  
120,000円

補修工事費の支払いが、消費税率8%時と10%時にまたがった場合、それぞれの税抜金額からD-1とD-2の金額を計算した上で、その合計額をBに記入。

**消費税率が10%の場合**

実際に支払った補修工事費 (領収書の税込金額) C-2

実際に支払った補修工事費の税抜合計

増税分  
0.05 (増税5%分)

10%時 実際に支払った消費税増税分 D-2

【税抜合計】=(実際に支払った補修工事費の税込合計 C-2)+1.10

※3「領収書」で確認できる実際に支払った補修工事費の税込合計を記入。領収書が複数ある場合は合算して記入。

AとBのうち少ない方の金額を記入 給付申請額 120,000円

事務局使用欄(申請者は記入不要)

5枚目につづきます

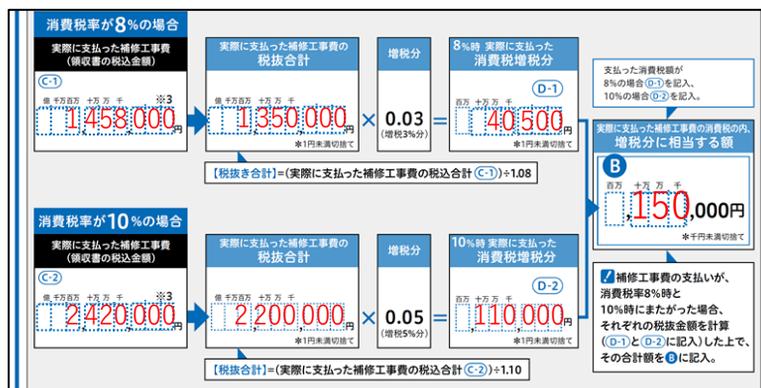
令和3年6月版

記入方法④

21 実際に支払った消費税増税分を記入してください。

- 20 で記入した税抜金額に、契約時の消費税率の増税分(消費税率8%適用期間は、 $\times 0.03$  消費税率10%適用期間は、 $\times 0.05$ )を掛けた金額を記入してください。1円未満切捨てとなります。

例 消費税率8%適用期間に1,458,000円の補修工事、10%適用期間に2,420,000円の補修工事をした場合の計算例



22 実際に支払った消費税の増税分に相当する額を記入してください。

- 21 で計算した消費税増税分の金額を B に記入してください。
- 補修工事を消費税率8%と10%の適用時期に行った場合は、その合計を記入してください。千円未満切捨てとなります。

23 A 「被災住宅の床面積と、り災状況に応じた給付単価を掛けた額」と B 「実際に支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額」それぞれに記入した金額を比べて、少ない方の金額を「給付申請額」に記入してください。

例

申請書に記載した A と B に記入した金額を確認して、「給付申請額」の記入欄に、少ない方の金額を記入します。右図の場合、金額の少ない B の120,000円を記入します。



## (6) 申請書5/5枚目

- 給付金の振込口座等の情報を記入していただく申請書です。
- 添付書類を参考に記載する項目があるため手元にご用意の上、記入してください。

### 記入見本⑤

24

住まいの復興給付金制度

補修

住まいの復興給付金申請書

5 / 5 枚目

⑤ 給付金は(代表)申請者本人名義の口座に振り込みます。

⑤ 給付金の振込先情報 □口座情報は正しく記入してください。記入を間違えると入金できないことがあります。

| (代表)申請者本人名義の振込口座   |                            | (代表)申請者本人名義の口座のみ指定することができます。(法人や家族名義の口座は指定できません) |                     |
|--------------------|----------------------------|--|---------------------|
| 金融機関<br>(ゆうちょ銀行以外) | 金融機関コード(数字4桁)              | 金融機関名  |                     |
|                    | ○ ○ ○ ○                    | △ △ 銀行   |                     |
|                    | 支店コード(数字3桁)                | 支店名  |                     |
|                    | ○ ○ ○                      | × × 支店   |                     |
|                    | 預金種別(該当のものに○印をつけてください)     |  | 口座番号(右詰め記入してください)   |
|                    | ①普通 ②当座 ③貯蓄 ④その他( )        |  | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |
|                    | □座名義人(カナ表記)                |  |                     |
|                    | フツコウ ジュンイチ                 |  |                     |
|                    | 記号(右詰め記入する場合は※部分に記入してください) |  | 乘号(右詰め記入してください)     |
|                    | ※                          |  |                     |
|                    | □座名義人(カナ表記)                |  |                     |

「□座名義人」欄の記入方法について

- ①カタカナで記入してください。 ②濁点・半濁点は1文字として扱います。
- ③口座名義が枠内(30文字)を超える場合は名義名称の冒頭から30文字までを記入してください。

「□座名義人(カナ表記)」の記入上の注意 (通帳表紙の裏に記載されているカタカナを記入してください)

●【復興 順一】と記入する場合

- ①小文字は大文字に直して記入してください。
- ②スペース(空白)・音声を正しく記入してください。
- ③濁点・半濁点は1文字として記入してください。

フツコウ ジュンイチ

指定した振込口座情報が確認できる通帳等の記載面のコピーを添付してください。

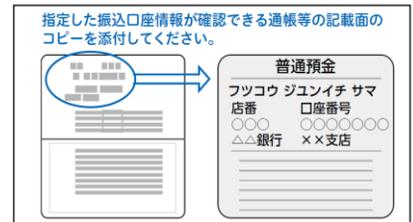
| 普通預金                |                     |
|---------------------|---------------------|
| フツコウ ジュンイチ サマ       | 店番 □口座番号            |
| ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |
| △ △ 銀行              | × × 支店              |

事務局使用欄(申請者は記入不要)

## 記入方法⑤

## 24 給付金の振込先を記入してください。

- 申請書(2/5枚目)の(代表)申請者本人名義の口座のみ、指定することができます。  
(法人や家族名義の口座は指定できません。)
- 口座情報は正しく記入してください。  
記入を間違えると、入金できないことがあります。  
通帳の口座情報が確認できる面を見ながら記入してください。
- 特に [口座名義人]欄を記入の際は、  
申請書に記載されている「『口座名義人』欄の記入方法について」  
をよくお読みください。



## ① &lt;&lt;ゆうちょ銀行以外の金融機関の口座を指定する場合のみ記入&gt;&gt;

指定する口座の金融機関コードと金融機関名および支店コードと支店名を記入してください。  
 ・金融機関名・支店名は漢字書きで「○○銀行」「△△支店」まで記入してください。

## ② &lt;&lt;ゆうちょ銀行以外の金融機関の口座を指定する場合のみ記入&gt;&gt;

預金種別を選択し、口座番号および口座名義人を記入してください。

- ・預金種別が [④ その他] の場合は預金種別の内容を記入してください。
- ・口座番号は、右詰めで記入してください。
- ・口座名義人はカナ書きで、記入してください。  
(申請書5/5枚目の「口座名義人(カナ表記)」の記入上の注意を参照)

## ③ &lt;&lt;ゆうちょ銀行の口座を指定する場合のみ記入&gt;&gt;

記号、番号および口座名義人を記入してください。

- ・番号は、右詰めで記入してください。

## (7) 同意事項

給付申請に係る重要な内容が記載されています。  
申請する前に、必ずお読みください。申請書を提出される場合は、同意事項に同意されたものとみなします。この書類は提出不要です。

## 住まいの復興給付金制度

## 提出不要

25

## &lt;同意事項(補修)&gt;

## 1. 制度と給付金の交付

住まいの復興給付金は、「住まいの復興給付金による被災者住宅再建支援対策事業実施要領」(平成26年2月7日復本第186号、以下「実施要領」という。)に規定する要件(以下「給付要件」という。)を満たす住宅の補修に対し、給付金の交付を行うものです。  
住まいの復興給付金の交付を受けるためには、住まいの復興給付金による被災者住宅再建支援対策補助金交付要領」(平成26年2月7日復本第187号)に基づき国からの補助金の交付を受ける者(以下「基金管理団体」という。)からの委託を受ける者(以下「事務局」という。)に対し、事務局所定の給付申請書(以下「申請書」という。)及び所定の確認書類(以下、給付申請書とあわせて「申請書類」という。)を提出しなければなりません。  
基金管理団体及び事務局(以下「事務局等」という。)は、提出された申請書類より、給付要件を満たすことを確認した場合、東日本大震災により被害が生じた住宅(以下「被災住宅」という。)の補修工事の発注者として、その実際に支払った補修工事費の負担割合(以下「補修工事費の負担割合」という。)に応じた給付金を交付します。

## 2. 申請者の定義

本同意事項における申請者とは、事務局へ提出された申請書において申請者として記載された者をいいます。申請書別紙の共同申請者申告書(以下「共同申請者申告書」という。)において代表申請者と記載された者(以下「代表申請者」という。)を含みます。  
また、本同意事項における共同申請者とは、共同申請者申告書において代表申請者以外の共同申請者として記載された者をいいます。

## 3. 共同申請の定義

単独で給付金の給付要件を満たさない者であっても、実施要領に定める複数の者が共同して当該すべての要件を満たす場合、これらの者が共同で給付申請(以下「共同申請」という。)を行うことができます。  
共同申請では、被災住宅の補修工事の発注者のうち1名を代表申請者としなければなりません。代表申請者は、共同申請者を管理して、給付金の申請及び受領を行います。代表申請者は、共同申請者の補修工事費の負担割合を含めた給付金を受領した後、それぞれの補修工事費の負担割合に応じて共同申請者に対して分配を行わなければなりません。  
共同申請者は、申請書類の提出から給付金の受取りまでの間、当該申請書に記載する内容(以下「申請情報」という。)に変更が生じた場合、代表申請者に通知しなければなりません。

## 4. 共同申請の委任と解除

代表申請者及び共同申請者は、共同申請者申告書にそれぞれ記名・押印することにより、共同申請者は給付金の共同申請及び受領を代表申請者へ委任し、代表申請者はこれを受任するものとします。  
代表申請者及び共同申請者は、代表申請者が給付金の交付を受ける以前においては、共同申請の委任を解除することができます。代表申請者及び共同申請者は、共同申請者の代表申請者に対する給付金の共同申請及び受領に関する委任が解除(代表申請者または共同申請者の死亡、破産手続開始決定等による委任の終了も含む、以下同じ)された場合、当該委任の対象となった共同申請者に対する行われたかを確認の上、申請書がある場合、代表申請者は委任を解除した共同申請者に対して「全ての共同申請者からの委任が解除された場合、代表申請者の死亡、破産手続開始等による委任の終了の場合は新たに代表申請者を定め申請を行わなければなりません。また、申請後である場合、代表申請者及び共同申請者は速やかに事務局に連絡を行い、その指示に従って、事務局より定める指定の「共同申請」における委任解除通知書」により事務局に通知しなければなりません。  
事務局等は、代表申請者及び共同申請者による上記方法による通知がない限り、代表申請者に給付金の交付をすることで、代表申請者及び共同申請者に対する給付金の交付義務を含む一切の責任を負わないものとします。

## 5. 重複申請の禁止

申請者及び共同申請者は、実施要領に定める住まいの復興給付金の実施期間中、1回限り、被災住宅の補修工事の発注者または給付要件を満たす再取得住宅の所有者として住まいの復興給付金の申請(「すまい給付金」による住宅市場安定化対策事業実施要領(平成26年2月7日住生第577号)に基づき実施されるすまい給付金(以下「すまい給付金」という。)の申請を含む。)ただし、住まいの復興給付金及びすまい給付金の交付を受けない場合を除く。)を行い、給付金の交付を受けることができます。  
また、申請者及び共同申請者は、実施要領に定める住まいの復興給付金の実施期間中、1回限り、被災住宅の所有者として、住まいの復興給付金の申請を行うことができます。

## 6. 債権譲渡の禁止

申請者及び共同申請者は、基金管理団体に対する住まいの復興給付金に関する債権について、第三者に対して譲渡、移転、担保に供することはできません。

## 7. 手続代行者による申請手続き

申請者は、住まいの復興給付金の申請を第三者に委任することができます。申請者から住まいの復興給付金の申請の委任を受けた者(以下「手続代行者」という。)は、申請書類の提出から給付金の交付が完了するまでの間、当該申請について申請者と同等の義務及び責任を負います。また、手続代行者は、給付金交付後も、当該申請に係り事務局等が行う調査(第12項)、給付金の返還(第14項)に協力を行う義務を負います。  
申請者は、手続代行者に住まいの復興給付金の申請を委任した場合であっても、当該申請に係る手続きが円滑に完了するよう協力しなければなりません。

## 8. 給付金の申請期限

申請者及び手続代行者は、事務局が定める場合を除き、補修した被災住宅が申請者または共同申請者へ引き渡された日から1年を経過するまでの間に申請書類を事務局に提出しなければなりません。

## 9. 申請の変更、取下げ及び無効

申請者及び手続代行者は、申請書類の提出から給付金の受取りまでの間、申請情報に変更が生じた場合は給付申請を取り下げられる場合、速やかに事務局に連絡し、その指示に従わなければなりません。  
申請者及び手続代行者が、本項に規定する連絡を怠ったことにより、事務局等による申請に係る審査ができない場合、事務局等は当該申請者及び手続代行者の提出した申請書に係る申請を無効とすることができます。申請情報の変更、申請の取下げ、申請が無効とされたことにより生じた申請者、共同申請者

申請者または手続代行者(以下「申請者等」という。)の不利益に対し、事務局等は、事務局等の故意または重大過失に起因する場合を除き、申請者等に対して一切の責任を負いません。

## 10. 給付申請の受付・却却の不可

事務局は、申請者または手続代行者から申請書類の提出を受けた場合、当該申請の給付要件に対する不備・不足を確認し、不備・不足がない場合は、事務局の審査システムに申請情報を登録します。当該登録をもっての申請受付の完了とし、申請受付を完了した申請については、給付金額算出後に、事務局から申請者に対して通知いたします。なお、共同申請の場合、代表申請者は、通知された内容を共同申請者に対して通知しなければなりません。  
申請書類に不備・不足がある場合、事務局は申請者または手続代行者に対して不備・不足に関する通知や連絡を行う他、申請書類の返却を行います。なお、事務局は、不備・不足がある申請について、申請受付を行わない場合があります。  
また、事務局等は、申請受付を完了した申請書類及びその他の書類については、いかなる理由があっても返却を行いません。

## 11. 申請情報の訂正

事務局は、提出された申請書類により申請書の記載内容が明らかに誤った情報であったり、その誤りが軽微なものであると事務局が判断した場合、その誤りについて「事務局による訂正」及び「申請者等に対する記載内容の変更申請」を行うことができます。事務局は訂正した情報について、申請者等に通知を行います。

## 12. 申請に係る住宅の調査等

国及び事務局等は、本事業の適正な実施を図るため、申請者等に対して、必要に応じ電話による問い合わせや追加書類の提出、補修した被災住宅への立ち入りを含む調査等(以下「調査等」という。)に協力を依頼する場合があります。申請者等はこれらの調査等に協力しなければなりません。

## 13. 申請資格の判断

事務局等は、申請者等が以下の①～⑤の行為を行うかまたは行おうとした場合、または調査等によって給付金の交付対象とならないことが確認された場合、当該申請者等から受け付けた給付申請を無効とし、また、当該申請者の将来における給付申請の受付を拒否することができます。

①: 虚偽その他の不正な手段によって給付申請を行い、給付金の交付を受けた場合

②: 事務局等が行う調査等に協力しなかった場合

③: すまい給付金等、主として消費税率の引上げに伴う住宅取得に係る負担軽減を図る国庫補助金等とその他の補助事業と重複して給付金の交付を受けていたまたは受けようとしていた場合

④: 実施要領、事務局等が行った規約または事務局等が行った告知、発表等において認められていない行為をした場合

⑤: その他、本同意事項の規定に違反する等、事務局等との信頼関係を損なうと事務局等が判断した場合

## 14. 給付金の返還

事務局等は、既に給付金を交付した申請であっても、前項に定める事由により給付申請が無効とされた場合、申請者及び補修工事費の負担割合を有する共同申請者に対して申請済みの給付金相当額について返還を求めるとします。返還を求められた申請者及び補修工事費の負担割合を有する共同申請者は事務局が定める納付期限までに返還しなければなりません。共同申請の場合、代表申請者及び補修工事費の負担割合を有する共同申請者は、当該返還義務を連帯して負担するものとします。

なお、事務局等は返還を求めずに際し、当該給付金を交付した日から返還の日までの日数に応じて、当該給付金(その一部を返還した場合におけるその後の期間については、既返還額を控除した額)につき年利10.95%の割合で計算した加算金の納付を求めることができます。

## 15. 免責

国及び事務局等は、補修した被災住宅の施工事業者、手続代行者、その他申請者との間、代表申請者と共同申請者、及び共同申請者相互の間で生じるトラブルや損害については、一切の責任を負いません。また、申請者による住まいの復興給付金の受取りについて、共同申請者、施工事業者、手続代行者、その他の者から異議申し立てがあった場合、事務局等は住まいの復興給付金の支払いを停止することができます。

また、事務局及び事務局から申請受付業務を委託された者が申請書類を受け取る時点(事務局が定める郵便に到着し、事務局より引き取りを行った時点をいう。)以前に生じた申請書類の紛失、郵送等の遅延等の事故については、事務局等はすべての責任を負わず、その事故に起因して生じる当該申請者の損失に対していかなる義務も負いません。

## 16. 個人情報の管理

事務局等は、事務局等の運営にあたり、申請者等から提出された個人情報について、個人情報データベースへの不正アクセスや個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩等の防止に関する適切な措置を行い、また、その見直しを継続して図ることにより、個人情報の保護に努めるものとします。事務局等は本事業を通じて取得した情報に係る給付金の交付から5年間保存し、本事業の目的の範囲内で、個人属性について統計的に処理したデータを公表することができます。

また、事務局等は、国が第13項①または③の確認のために行う調査や事業に対して、本事業を通じて取得した情報を提供し、その確認作業を共同で行うことがあります。

## 17. 専属の合意管轄裁判所

本同意事項に基づく給付金の申請に関して、申請者等と事務局等との間に生じた紛争については、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を専属の合意管轄裁判所とします。

## 18. 事業の内容変更・終了

事務局は、国または基金管理団体との協議に基づき、本事業を終了、またはその制度内容の変更を行うことができるものとします。この場合、事務局等は、本事業の終了、停止、契約の変更等によって申請者等へ何らかの損害、不利益が生じた場合であっても、当該損害等が事務局等の故意または重大過失による債務不履行または不法行為に起因するものでない限り、一切の責任を負わないものとします。申請者等は本同意事項の変更については、事務局等が住まいの復興給付金に関する事務局のウェブサイト及びその他の告知物等で変更内容を公表した後は、変更の事実及びその内容を承諾したものとみなします。

## 注意事項

- 給付申請から給付金の振込までには一定の手続期間を要します。手続期間は給付申請の受付状況等により変わります。
- 事務局等は、給付の交付に係る振込みの遅延、その他事由によって生じたいかなる損害について、一切の責任を負いません。
- 申請に関して不明な点は、申請の手引きをご参照ください。
- 申請者、共同申請者及び手続代行者が申請書に記名・押印し事務局に提出することにより、本同意事項に同意したこととなります。

令和3年6月版

25

(代表)申請者または共同申請者(手続代行者を含む)に同意して  
いただく事項 ※必ずお読みください。



## (8) 別紙①【補修】共同申請者申告書

被災住宅の所有者と補修工事の発注者が異なる場合など、共同で申請をする必要がある場合に提出する書類です。

申請書2/5枚目の「(代表)申請者氏名」で「補修工事を複数の者で発注しており、共同で申請する場合」、または申請書3/5枚目の「補修した被災住宅の所有者」で「(代表)申請者氏名と異なる」にチェックをした場合に提出してください。(該当しない場合には提出不要です。)

### 記入見本⑥

| 住まいの復興給付金制度  |                    |                            |   |
|--|--------------------|----------------------------|---|
| 補修   |                    | 別紙① 共同申請者申告書               |   |
| すべての代表申請者および共同申請者は本申請書の記載内容および<同意事項>を確認・同意の上、給付申請を行います。また、自らの給付申請および給付金の受領を代表申請者に委任し、代表申請者はこれを受任します。 |                    |                            |   |
| 被災時点の被災住宅の所有者 <input checked="" type="checkbox"/> 所有者が複数の場合は1名だけ記入してください。 ※住民票等で確認できる氏名・生年月日を記入      |                    |                            |   |
| 共同申請者  | 氏名                 | フリガナ フッコウ ススム<br>氏 復興 進    | 復 興 進<br>生年月日 明治 平成<br>大正 令和<br>昭和 20年 8月 1日  |
| 補修工事の発注者 <input checked="" type="checkbox"/> 被災住宅の所有者と補修工事の発注者が同一の場合も記入してください。 ※住民票等で確認できる氏名・生年月日を記入 |                    |                            |   |
|  | 実際に支払った補修工事費の税込合計  | 氏名                         | 生年月日  |
|  | 消費税率8%時 消費税率10%時   |                            |   |
| 1<br>代表申請者<br>給付金の受給者  | 3,000,000円         | フリガナ フッコウ ジュンイチ<br>氏 復興 順一 | 復 興 順一<br>生年月日 明治 大正 昭和 平成 令和<br>50年 4月 10日   |
|  |                    | いずれかにチェック                  | <input checked="" type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住している<br><input type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住していない(親孝行住宅再建支援の場合*) |
| 2<br>共同申請者   | 1,000,000円         | フリガナ フッコウ ススム<br>氏 復興 進    | 復 興 進<br>生年月日 明治 大正 昭和 平成 令和<br>20年 8月 1日   |
|  |                    | いずれかにチェック                  | <input checked="" type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住している<br><input type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住していない(親孝行住宅再建支援の場合*) |
| 3<br>共同申請者   | 320,000円           | フリガナ フッコウ ジュンコ<br>氏 復興 順子  | 復 興 順子<br>生年月日 明治 大正 昭和 平成 令和<br>56年 10月 20日  |
|  |                    | いずれかにチェック                  | <input checked="" type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住している<br><input type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住していない(親孝行住宅再建支援の場合*) |
| 4<br>共同申請者   |                    | フリガナ<br>氏                  | 印<br>生年月日 明治 大正 昭和 平成 令和<br>年 月 日   |
|  |                    | いずれかにチェック                  | <input type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住している<br><input type="checkbox"/> 補修した被災住宅に居住していない(親孝行住宅再建支援の場合*)            |
| 実際に支払った補修工事費の税込合計  | C-1 4,320,000円 C-2 |                            |   |

●必ず代表申請者および共同申請者本人が記名・押印してください。  
 ●同一の申請者が複数回補修工事の発注した場合は、それぞれの補修工事費を合算した金額を記入してください。  
 ●この記入用紙に書ききれない補修工事の発注者がいる場合は、この用紙をコピーして2の欄から順に記入してください。  
 ●代表申請者および共同申請者が給付金の申請および受領の委任を解除する場合には、必ず「共同申請における委任解除通知書」を取り交わし、事務局へ提出してください。  
 ●代表申請者および共同申請者として一度申請した場合、本制度または、国土交通省の「すまい給付金」制度と重複して給付申請することはできません。

※「親孝行住宅再建支援について」  
 ・被災住宅の所有者である父母・祖父母等が居住するための住宅の補修工事を子・孫等が発注した場合、その住宅に共に居住していない場合でも給付申請できます。  
 ・「親孝行住宅再建支援申出書」等が必要となります。(1/5枚目 2を参照)  
 ・複数の者が親孝行住宅再建支援をする場合は、それぞれ「親孝行住宅再建支援申出書」を提出してください。

事務局使用欄(申請者は記入不要)

26

27

28

## 記入方法⑥

- 申請書の同意事項をお読みにになり、同意の上、必ず代表申請者および共同申請者本人が記名・押印してください。記名・押印することにより、共同申請者は代表申請者に給付金の申請および給付金の受領を委任し、代表申請者はそれを受任することになります。(委任の解除については、速やかに「住まいの復興給付金事務局コールセンター」までご連絡ください。P68参照)
- 1枚の書式に書ききれない補修工事の発注者がいる場合には、この書式をコピーしてください。
- 共同申請の場合、補修した被災住宅に居住していない場合は申請できません。ただし、親孝行住宅再建支援の場合は申請可能です。別途「親孝行住宅再建支援申出書」(P35参照)を、住まいの復興給付金事務局のホームページから書式をダウンロードするか、この手引きの書式を使用してください。

**26** 被災住宅の所有者本人が記名・押印してください。

- 被災住宅の所有者が複数の場合には、1名のみ記名・押印してください。
- 被災住宅の所有者が死亡または行方不明の場合は、記名・押印は不要ですが、別途「【補修】被災住宅所有者との関係確認書」(P32, および書式集参照)等、申請書1/5枚目に記載されている3点の書類を提出してください。

**27** 被災住宅の所有者の生年月日を記入してください。**28** 補修工事の発注者のうち、給付金の申請および受領を代表して行う方の情報を記入してください。

- 申請書2/5枚目の「①(代表)申請者情報」に記入した「氏名」、「生年月日」と同じことを確認し、「補修した被災住宅への居住の有無」にチェックをしてください。氏名は、代表申請者本人が記名・押印してください。  
また、「実際に支払った補修工事費の税込合計」の欄には、代表申請者が支払った補修工事費の税込合計額を記入してください。

記入見本⑥

住まいの復興給付金制度

補修

別紙① 共同申請者申告書

すべての代表申請者および共同申請者は本申請書の記載内容および「同意事項」を確認・同意の上、給付申請を行います。また、自らの給付申請および給付金の受領を代表申請者に委任し、代表申請者はこれを受任します。

被災時点の被災住宅の所有者  所有者が複数の場合は1名だけ記入してください。 ※住民票等で確認できる氏名・生年月日を記入

|       |    |           |     |    |      |                                |
|-------|----|-----------|-----|----|------|--------------------------------|
| 共同申請者 | 氏名 | フリガナ フッコウ | ススム | 復興 | 生年月日 | 明治 平成<br>大正 令和<br>昭和 20年 8月 1日 |
|-------|----|-----------|-----|----|------|--------------------------------|

補修工事の発注者  被災住宅の所有者と補修工事の発注者が同一の場合も記入してください。 ※住民票等で確認できる氏名・生年月日を記入

| 1<br>代表申請者<br>給付金の受給者 | 実際に支払った補修工事費の税込合計 |           | 氏名                         | 生年月日                         |
|-----------------------|-------------------|-----------|----------------------------|------------------------------|
|                       | 消費税率 8%時          | 消費税率 10%時 |                            |                              |
|                       | 3,000,000円        | 円         | フリガナ フッコウ ジュンイチ<br>氏 復興 順一 | 明治 大正 昭和 平成 令和<br>50年 4月 10日 |

|            |            |   |                           |                               |
|------------|------------|---|---------------------------|-------------------------------|
| 2<br>共同申請者 | 1,000,000円 | 円 | フリガナ フッコウ ススム<br>氏 復興 進   | 明治 大正 昭和 平成 令和<br>20年 8月 1日   |
| 3<br>共同申請者 | 320,000円   | 円 | フリガナ フッコウ ジュンコ<br>氏 復興 順子 | 明治 大正 昭和 平成 令和<br>56年 10月 20日 |
| 4<br>共同申請者 | 円          | 円 | フリガナ<br>氏                 | 明治 大正 昭和 平成 令和<br>年 月 日       |

|                   |            |   |
|-------------------|------------|---|
| 実際に支払った補修工事費の税込合計 | 4,320,000円 | 円 |
|-------------------|------------|---|

- 必ず代表申請者および共同申請者本人が記名・押印してください。
- 同一の申請者が複数回補修工事を発注した場合、それぞれの補修工事費を合算した金額を記入してください。
- この記入用紙に書ききれない補修工事の発注者がある場合は、この用紙をコピーして2の欄から順に記入してください。
- 代表申請者および共同申請者が給付金の申請および受領の委任を解除する場合には、必ず「共同申請における委任解除通知書」を取り交わし、事務局へ提出してください。
- 代表申請者および共同申請者として一度申請した場合、本制度または、国土交通省の「すまい給付金」制度と重複して給付申請することはできません。

※(親孝行住宅再建支援について)

- ・被災住宅の所有者である父母・祖父母等が居住するための住宅の補修工事を子・孫等が発注した場合、その住宅に共に居住していない場合でも給付申請できます。
- ・「親孝行住宅再建支援申出書」等が必要となります。(1/5 枚目 2 を参照)
- ・複数の者が「親孝行住宅再建支援」をする場合は、それぞれ「親孝行住宅再建支援申出書」を提出してください。

事務局使用欄(申請者は記入不要)

令和3年6月版

29

30

## 29 補修工事の発注者が複数の場合は、共同申請する補修工事の発注者情報を記入してください。

- 補修工事の発注者の2～4には、
  - <実際に支払った補修工事費の税込合計>欄 ① に、共同申請者が実際に支払った工事金額(税込)の合計を、適用を受けている消費税率の欄に記入してください。
  - <氏名>欄 ② には、住民票等で確認できる氏名を本人が記名・押印してください。
  - <生年月日>欄 ③ には、住民票等で確認できる生年月日を記入してください。
  - <いずれかにチェック>欄 ④ には、補修した被災住宅に居住しているか、居住していないか、該当する方にチェックをしてください。
- 一人の補修工事の発注者が、補修工事を複数回発注した場合は、行った補修工事費を合算した金額を記入してください。
  - ・補修した被災住宅に居住していない場合は、申請できません。ただし、親孝行住宅再建支援で申請される場合は申請可能です。その場合は、別途「親孝行住宅再建支援申出書」(P35, および書式集参照)を記入し、被災住宅の所有者との続柄を証明する書類と共に提出してください。
  - ・被災住宅の所有者である親(父母・祖父母等)が居住するため、その住宅を子(子や孫等)が補修工事の発注者となり、補修(親孝行住宅再建支援)する場合、その子は補修した被災住宅に居住していなくても、実際に支払った工事費の税込合計に含むことができます。
  - ・この記入用紙に書ききれない補修工事の発注者がいる場合、この書式をコピーし共同申請者2の欄から記入してください。

## 30 実際に支払った補修工事費の税込合計を記入してください。

- 補修工事の発注者が実際に支払った補修工事費の税込金額の合計を記入してください。
- 申請書4/5枚目「④給付申請額」の「実際に支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額」B が (C-1) および (C-2) と同じであることを確認してください。

# (9) 別紙②【補修】工事請負契約が複数の場合の工事確認書

分離発注や複数回補修工事を行った場合など、複数の補修工事を行った方が提出する書類です。

申請書3/5枚目の「契約を締結した工事施工者」で、「複数の契約で補修を実施」にチェックをした場合に提出してください。(該当しない場合には提出不要です。)

## 記入見本⑦

### 住まいの復興給付金制度

補修

別紙② 工事請負契約が複数の場合の工事確認書

分離発注や複数回補修工事を行った場合など、複数の工事請負契約を締結し、工事を行った場合は、工事契約ごとに情報を記入してください。  
※同一の工事施工者との契約が複数の場合でもそれぞれの工事についての情報を記入してください。

以下について間違いがないことを確認し、申告します。

申請者

復興 順一

補修工事に係る最終工事の引渡日

平成 令和 26 年 9 月 30 日

| 補修工事の内容              |  | 実際に支払った補修工事費の税込合計 |          |
|----------------------|--|-------------------|----------|
| ※それぞれの契約書で確認できる情報を記入 |  | ※領収書で確認できる金額を記入   |          |
| 工事施工者                | 事業名  | 消費税率8%時           | 消費税率10%時 |
| 1                    | 事業名 株式会社 住宅リフォーム<br>担当者名 改築 建二<br>担当者連絡先 022 - 123 - xxxx<br>契約日 平成 令和 26 年 4 月 15 日 引渡日 平成 令和 26 年 7 月 15 日 | 3,000,000円        | 円        |
| 2                    | 事業名 補修工事株式会社<br>担当者名 補修 太郎<br>担当者連絡先 022 - 222 - xxxx<br>契約日 平成 令和 26 年 6 月 20 日 引渡日 平成 令和 26 年 8 月 15 日     | 1,000,000円        | 円        |
| 3                    | 事業名 壁面工事株式会社<br>担当者名 壁面 太郎<br>担当者連絡先 022 - 222 - xxxx<br>契約日 平成 令和 26 年 7 月 1 日 引渡日 平成 令和 26 年 9 月 30 日      | 320,000円          | 円        |
| 4                    | 事業名<br>担当者名<br>担当者連絡先<br>契約日 平成 令和 年 月 日 引渡日 平成 令和 年 月 日   | 円                 | 円        |
| 5                    | 事業名<br>担当者名<br>担当者連絡先<br>契約日 平成 令和 年 月 日 引渡日 平成 令和 年 月 日   | 円                 | 円        |
| 6                    | 事業名<br>担当者名<br>担当者連絡先<br>契約日 平成 令和 年 月 日 引渡日 平成 令和 年 月 日   | 円                 | 円        |

実際に支払った補修工事費の税込合計

(C-1) 4,320,000円

(C-2) 円

※この記入用紙に書ききれない工事施工者がある場合は、この用紙をコピーして工事施工者1の欄から順に記入してください。  
その場合「実際に支払った補修工事費の税込合計」はどちらか一方に記入してください。

事務局使用欄(申請者は記入不要)

34

35

31

32

33

36

37

## 記入方法⑦

**31** 申請者の氏名を本人が記名してください。

- 共同申請の場合は、代表申請者本人が記名してください。

**32** 最後に行った補修工事の引渡日を記入してください。**33** 契約書に記載されている工事を行った工事施工者の情報を記入してください。

- ①は事業者名、②は担当者の氏名、③はその担当者の連絡先を記入してください。  
・担当者名が不明の場合、②は記入不要です。

**34** 補修工事の契約日を記入してください。

- 工事施工者と取り交わした、「補修工事の工事請負契約書」に記載されている契約日を記入してください。

**35** 引渡しを受けた日を記入してください。

- それぞれの工事が完了したことを補修工事の発注者と工事施工者が、お互いに確認した日を補修工事の引渡日としてください。

**36** 実際に支払った補修工事の税込金額を、適用を受けている消費税率の欄に記入してください。

- 同じ補修工事施工者でも、適用されている消費税率が異なる時に、それぞれ補修工事を発注した場合は、消費税率8%適用時の工事と10%適用時の工事を別々に記入してください。
- 確認書類として添付していただく領収書と同じ金額であることを確認してください。

- 以下、工事施工者2～6までは、各工事施工者毎に上記 **33** ～ **36** と同様に、各工事毎の契約書で確認できる情報を記入してください。

- 1枚の書式に書ききれない工事施工者がある場合には、書式をコピーして「工事施工者1」の欄から記入してください。

**37** 実際に支払った補修工事費の税込金額の合計金額を記入してください。

- 申請書4/5枚目「④給付申請額」の「実際に支払った補修工事費の消費税の内、増税分に相当する額」で記入した **C-1** および **C-2** と同じことであることを確認してください。